【 接続語 一覧表 】

令和七年(2025年)4月16日改訂

●**語句と語句、文と文、段落と段落等**をつなぎ、前後がどんな関係であるかを示す言葉。

分 類	働きと具体例 ※自立語のみ
①順 接	前の事柄(ことがら)が**原因・理由**となり、後にその**順当な結果**がくる。 ※**順当**:当然なさま。
	だから、**すると**、したがって、それで、そこで、ゆえに、それゆえ、よって
②逆 接	前の事柄と**対立**するような事柄が後にくる。 ※対比・不調和・反対・逆とも。
	しかし、**ところが**、でも、けれど、それでも、が、だが、だけれども、それなのに、しかしながら、だのに、ですが
③並 列	二つ以上の事柄を**対等に並べる**。「**並立**」ともいう。
	そして、**また**、それから、および、ならびに
④添 加	前の事柄に、**新しい事柄や重要な事柄をつけ加える**。
	また、**そして**、さらに、しかも、そのうえ、それから、おまけに、それに、かつ
⑤選 択	前の事柄と後の事柄の、**どちらかを選ぶ**。 ※**選択的並列**
	または、**あるいは**、それとも、もしくは、ないしは
⑥説 明	(1)**理由**:**なぜなら**、だって ※根拠 (2)**換言**:**つまり**、要するに、すなわち ※**換言**(かんげん):言いかえること。 (3)**例示**:**たとえば** 、いわば (4)**補足**:**ただし**、なお、もっとも ※**補足**:足りない点を補(おぎな)うこと。 ※条件・例外とも。
⑦転 換	**話題を変える**。 ※話題転換
	さて、**ところで**、では、それでは、そもそも、ときに

■**注意**

※演習時やテスト時に、各接続語の**区別や働き**を知らずに必死に「**接続語探し**」をしてチェックに勤(いそ)しんでいる受験生を非常に多く見受ける。チェック作業に注力するあまり認知的視野を狭(せば)めて読解そのものがお座なりになるような**本末転倒に陥**(おちい)**らぬよう、普段から文脈を正確に把握**(はあく)**する訓練をしっかりと積んでおこう**。

※「**そして**」を「**添加・並列**」の接続語ではなく「順接の接続語」と捉(とら)え違(ちが)えている小学生が非常に多い。

「そして」には前後の因果関係を積極的に示す働きはない(＝順接にはならない！)。

※「**添加の接続語**」の後には「**新しい事柄**(ことがら)**や重要な事柄**」が置かれる場合が多い。

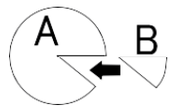
> ①私は七時に起きた。**だから**、顔を洗いに行った。
> ・前後の内容について、**因果関係を積極的に示す文脈**には『**順接**』を用いる。
>
> ②私は七時に起きた。**そして**、顔を洗いに行った。
> ・**因果関係ではなく、前の事柄に別の新たな事柄を付け加える文脈**には『**添加**』を用いる。

※「箱(はこ)のふたをそっと開けた。(**だから/すると**)白い煙(けむり)がもくもくと…」のように、同じ順接でも意味や用法が異なる。接続語は、日常においても話者や書き手の感情の表出、また、主観性や客観性、ニュアンスなど、その時々に応じてさまざまに使い分けられている。**文脈や場面、状況に応じた言葉の選択、使い分け**ができるよう、**普段から語感を磨き、表現力を高める訓練**にも注力しておきたい。

※「**接続語補充問題**」では、前後それぞれの「**主語・述語(主部・述部)を押さえて要約し、文脈をたどる**」訓練により**判定の精度が向上する**。

※「**説明**」の項に含めた「**たとえば・言わば・つまり・要するに**」は、品詞としては「**副詞**」である。**連結機能**を持つ一部の副詞は「**接続語**」として扱(あつか)われる。 ※**品詞**としての『**接続詞**』になるわけではない。

※文章を書く際には、**接続語の後に「読点(、)」を打つ**ことが原則となっている。

分 類	例 文
①順 接	・強い風が吹いてきた。 【 **だから** 】、 ・木々の枝が大きく揺れた。 ※「だから」を「すると」に置き換(か)えて読んでみよう。同じ順接の接続語でも使い方やニュアンスが異なるので、普段から語感を磨き、記述表現にも活用しよう。
②逆 接	・全力で走った。 【 **しかし** 】、 ・ゴールの手前で転んでしまった。 ※「しかし」を「ところが」に置き換えて読んでみよう。同じ逆接の接続語でも使い方やニュアンスが異なるので、普段から語感を磨き、記述表現にも活用しよう。
③並 列	・笑っている人もあれば、 【 **また** 】、 ・考え込む人もある。 ※「並列」の場合、前後を置き換えても元の文と意味が変わらない。
④添 加	・私は七時に起きた。 【 **そして** 】、 ・急いで出掛ける準備をした。 A＋B ※「添加」の場合、前後の内容を置き換えると意味的に不自然となる。ただし、使われ方によっては「並列」と「添加」のどちらかが決定できないことがある。
⑤選 択	・コーヒーにしますか。 【 **それとも** 】、 ・ジュースにしますか。 ※「**いずれかを選択する**」という文脈で並列的に使用されることから、「**選択的並列**」という捉え方をするとよい。
⑥説 明	(1)**理由・根拠** ・私はA君が嫌いだ。 【 **なぜなら** 】、 ・彼はいい加減だからだ。 ※「順接」の場合と異なり、「理由・原因」が後にくる。
	(2)**換言** ・文法とは、 【 **つまり** 】、 ・言葉の決まりのことだ。 ※後の内容が「言い換え」、あるいは「要約内容」、「抽象化」であるため、前後の内容が等しくなる。
	(3)**例示・比喩** ・僕の趣味は読書です。 【 **たとえば** 】、 ・冒険ものや探偵ものをよく読んでいます。
	(4)**補足(条件・例外)** ・さあ、遊んでおいで。 【 **ただし** 】、 ・5時になったら帰って来なさい。 
⑦転 換	・激しい雨だ。 【 **さて** 】、 ・明日の遠足はどうかな。